

徳島県立博物館の標本レスキュー活動

陸前高田の被災標本 300 点を引き受ける



泥にまみれて腐敗が始まっている標本も多数あり

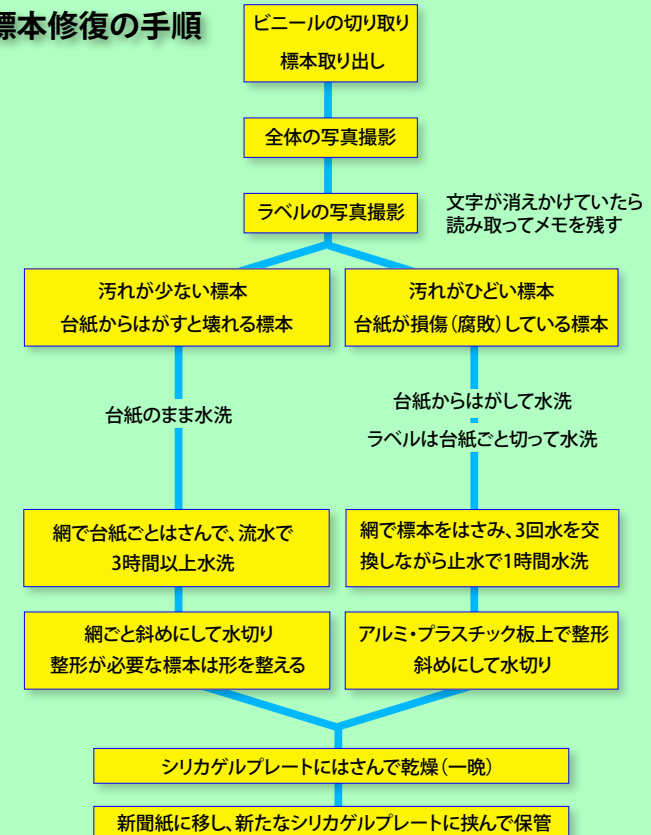
作業のポイント

- ① 今後の保存のため、塩分をきちんと取り除く。
- ② 標本の持つ情報をできるかぎり残す。
- ③ 標本へのダメージを最小限にとどめる。
- ④ こうした活動について市民の方に知ってもらう。

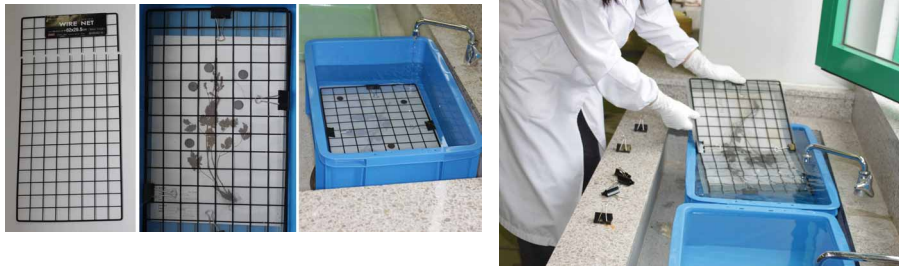
作業にかかったコスト

人員：1人
 作業期間：2011年5月～2012年4月（標本洗浄は25日間）
 費用（光熱水費を除く）：3000円（100均グッズ代）

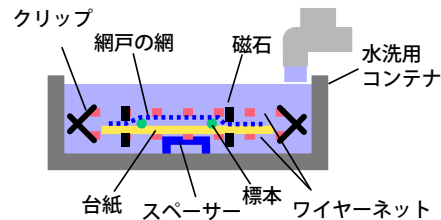
標本修復の手順



100均グッズで標本の洗浄器具を作成

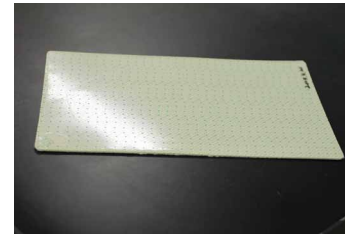


100円ショップで購入したワイヤーネットをペンチでカットし使用。他にも磁石やクリップ、網戸を使い標本洗浄機を作成した。



標本台紙が付いていてもこんなにきれいになった。

シリカゲルプレートで楽々乾燥



当館で標本作成用に使用している厚さ 3mm のシリカゲルを含んだプレート。標本を一晩で濡れた台紙ごと乾燥できる。

洗浄前の写真をできるだけ多く撮影



洗浄前に標本の写真をできるだけたくさん撮影した（計 2700 枚）。それを標本ごとにまとめて印刷し、乾燥させた標本に添付した（画像は DVD に入れて送付）。



標本レスキューの報告・記録

博物館のホームページ

<http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/ogawa/database/rikuzentakata/>

新聞やテレビなどのマスコミによる報道



徳島新聞 (2011年5月31日)

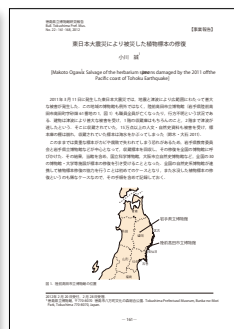


毎日新聞 (2011年6月14日)



研究報告への投稿

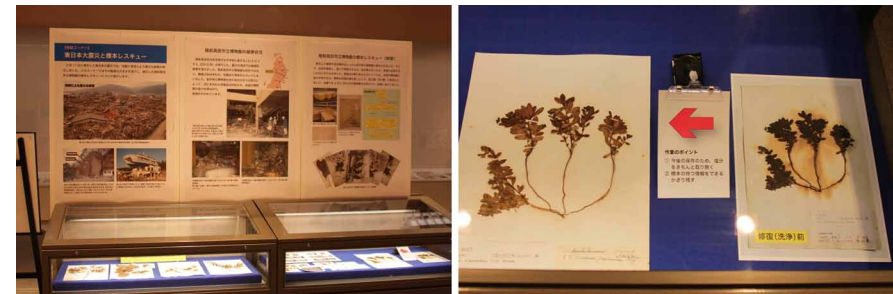
東日本大震災により被災した植物標本の修復



【企画展】描かれた地震での展示

期間：2011年10月21日～11月27日

特設コーナー 東日本大震災と標本レスキュー



レスキュー作業を行っての感想

- 作業の場の確保がむずかかった（実習室を使ったために行事がある日の前後が使えなかった）。
- 日常の業務を行えながら作業できたのでとても楽しかった。その分、現地に行かれた方や岩手県立博物館のみなさんの苦労は大きかったと思う。
- 技術的な情報交換ができる場があればと思った。後にネットで、乾燥機を使うと植物標本が皺になるので苦労したといった記事を見た。

植物標本を洗いながらいろいろなことを考えることができました。そのきっかけを作ってくれた皆様に感謝します。